

地 域 と 医 療 で 咲 く コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

あまが咲

2017

4月

No.35



兵庫県立尼崎総合医療センター

Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより

〔院内専門センターのご案内〕

小児・周産期医療センター
「小児救命救急センターと
3つの専門診療科を
つくります」



〔AGMC委員会・部会めぐり〕

リスクマネジメント部会

- 院内保育所が、新しくオープンしました！
- セミナーのご案内
- スタッフのつばやき
- ぶらり〜と病院探訪

小児・周産期医療センター



院内専門 センターの ご案内

複数の診療科・部門を一つに
まとめ、診療機能を統合させた
当院の《センター》を
ご紹介します。



小児救命救急センターと 3つの専門診療科をつくります

小児・周産期医療センターの特徴

兵庫県立尼崎総合医療センターには、こどもに関わるセンターとして小児医療センターと総合周産期母子医療センターがあります。診療科としては小児科・小児循環器内科・小児アレルギー科・小児救急集中治療科・小児外科・産婦人科の6つが関わっており、これまで「あまが咲だより」で紹介させていただきました。平成29年4月には新たに小児救命救急センターと新生児内科・小児神経内科・小児血液腫瘍内科を設立して、より専門的な診療体制を築いていくこととなりました。脳神経外科には小児脳神経外科が新設され、脳脊髄の外科疾患にも対応いたします。



小児アレルギー科

左から：西濱医師、飯尾医師※、川崎医師

※診療科長

新設

小児救命救急 センター

小児循環器内科 (先天性心疾患など)

小児救急集中治療科 (呼吸不全・脳炎脳症など)

小児アレルギー科 (喘息・アトピー性皮膚炎など)

小児脳神経外科

新設

小児血液腫瘍内科 (白血病・小児がんなど)

患者さんや 地域医療機関へのメッセージ

こどもの疾患や外傷に対して、院内の他科や近隣の診療所・病院と協力しながら最善の医療を提供し、「ここに来てよかった」と思ってもらえるようになるのが、当センターの抱負です。



小児血液腫瘍内科

左から：小林医師、宇佐美医師※、末廣医師



各診療科長

左上から:

廣瀬医師(産婦人科)
毎原医師(小児科)
菅医師(小児救急集中治療科)

左下から:

坂崎医師(小児循環器内科)
片山医師(小児外科)



周産期医療センター長
兼小児救命救急
センター長
兼小児科科長

毎原 敏郎

- ・京都大学医学博士
- ・京都大学小児科臨床教授
- ・日本小児科学会 専門医 指導責任医 代議員
- ・日本小児神経学会 小児神経専門医
- ・日本子ども虐待医学会 代議員

小児医療センター

小児外科

(虫垂炎・腹部腫瘍など)

小児科

(総合的な診療)

新設

小児神経内科

(てんかん・発達障害など)

周産期医療センター

産婦人科

新設

新生児内科

(低出生体重・仮死など)



小児神経内科

左上から: 石原医師、加藤医師^{*}、井手医師 / 左下から: 松本医師、毎原医師



新生児内科

左上から: 寺西医師、吉田医師 / 左下から: 飯尾医師、西田医師^{*}



適切な運営および安全な医療提供を行うために、多職種で運営されている院内委員会・部会です。

リスク マネジメント部会

医療安全とは、 “Patient Safety”です

医療安全とは？

かなり漠然としたネーミングですが、英語で言うところの“Patient Safety”。当部門は、“患者さんの安全を守る(向上する)ための活動”を担っています。あらゆる医療行為はリスクを伴うので、医療安全部の守備範囲は院内の全ての部署に及び、起ってしまったこと、起りかけたこと、将来起りそうなこと、様々な情報が医療安全室に集まってきます。

《構成メンバー》

- 医療安全担当副院長
 - 医療安全部長
 - 医療安全課長
 - 専従看護師
 - 医療秘書
- の5名。

その他、院内の各部門で構成するリスクマネージャー73名
およびタスクフォース13名。

医療安全部長／消化器外科部長

田村 淳



医療安全対策室メンバー

Ⅰ 活動内容・取り組み・目標

情報収集・現場確認は活動の基本です。院内で問題が発生した際、現場に急行し情報収集するスタッフの姿を皆さんも目撃していることでしょう。

ヒヤリハット事例^(注)は、電子カルテアプリ“セーフマスター”から毎月約400件の報告があがってきます。週一回のタスクフォース会議では問題事例を抽出・検討し、毎月のリスクマネジメント部会ではリスクマネージャーが集合し、報告状況や警鐘事例の紹介、個別のテーマについてグループワークを行なっています。

全職員を対象にした医療安全研修は、外部講師を招聘して年に2回開催しています。

(注)ヒヤリ・ハットとは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の発見をいう

Ⅱ 患者さんや地域医療機関へのメッセージ

“Patient Safety”は、医療における最優先課題です。院外の皆さんにも、医療安全部が日々活動していることを知って頂ければ幸いです。



危険箇所がないか安全ラウンド



患者確認方法のチェックラウンド



医療安全タスクフォース(TF)のメンバー



医療安全タスクフォース(TF)カンファレンス

お知らせ



病児・病後児保育



院内保育所が、新しくオープンしました!

お父さん・お母さんが、安心して病院で働けるために!

平成27年7月の開院以降仮設で運用していました院内保育所ですが、この度、病院北側に新保育所が3月末に完成(木造平屋・延床面積327.29㎡)し、4月より運営を開始しました。

この保育施設の特徴としては、利用されるお子さんの安全と健康、そして環境への配慮などを考慮し、木の温かみと質感をそのまま活かした木の香り溢れるものとなっています。また、壁には不燃処理加工した木質建材を使用するとともに、防犯カメラの設置など、防火・防犯対策を講じています。

さらに新保育所では、院内保育所に加え、「病児・病後児保育所」を開所しています(尼崎市民の方の利用も可能)。

運営については、病院内、企業内保育で実績のある運営会社に委託し、安心してご利用いただけるよう安全面・機能面ともに充実した保育施設となっています。



2つの当院企画セミナーのご案内

多くの方
ご参加を!



第63回市民健康公開講座 「市民すこやかセミナー」

テーマ

『からだの病気とうつ病』

～こころも元気で!～

講師: 県立尼崎総合医療センター
▶精神科 医師 見野 耕一



【日 時】 平成29年5月16日(火曜日)
午後2時～3時30分

【場 所】 県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)
参加費: 無料(予約不要)

★お問い合わせ: 地域医療連携センター
☎ 06-6480-7000(代表)

第10回 生活習慣病セミナー

テーマ

『コレステロール・中性脂肪が、 高いと言われたら…』

講師: 県立尼崎総合医療センター
▶糖尿病・内分泌内科 医師
沼 真喜子
▶薬剤師、栄養士



【日 時】 平成29年5月25日(木曜日)
午後2時～4時

【場 所】 県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)
参加費: 無料(予約不要)

★お問い合わせ: 外来Bブロック(糖尿病・内分泌内科)看護師
☎ 06-6480-7000(代表)

スタッフの
つぶやき

電子化による適正な保存と管理

初めまして、こんにちは！

「スキャンセンター」での私たちの仕事について、お話をしたいと思います。

当センターでは、診療録は電子カルテ運用となっていますので、皆さんが、ご持参された紹介状や検査画像、また、署名された紙ベースでの種々の同意書等を電子カルテ内で適正な保存と管理を行うために、私たちが、「スキャンセンター」でスキャン取込み(電子化)を行っています。このことにより、院内での診療情報の共有化を図り、さまざまな分野で活用することでスムーズに診療を受けていただけるようになります。その他、当センターでの検査画像データなどをかかりつけ医にお渡しするために、CD媒体への焼付作業も行っています。



病歴室 高田仁美



少しでも患者さんの診察待ち時間の短縮になり、皆様が安心して診療を受けていただけるように今後も努めていきたいと思っています。

ぶらり〜っと 病院探訪

〜患者さんも職員も利用できる憩いの場〜



カフェ・ド・クリエ

(尼崎総合医療センター店)



今回は、病院内で一際異彩を放つおしゃれスポット『カフェ・ド・クリエ』を訪ねてきました。

店内は壁や仕切りがなく、患者さんも職員も誰でも入りやすい雰囲気です。お店のコンセプトは癒しを与え、くつろげる空間を提供することだそうです。また、患者さんも多く来店されるため、セルフサービスではありますがお客様の状態に合わせて、臨機応変な対応を心掛けてしていると伺いました。病院内ならではの視点を持って日々働かれているようです。

店長のおすすめは、豊富なメニューやモーニング、毎週水曜日に出る新商品です。毎週新商品が出るので、頻繁に利用しても飽きずに楽しめ、長期の入院になった方やそのご家族、職員にとってはとても有り難いですね。ただ、毎週新商品が出るとなると、商品開発部は大変そうです…。

サービスとしては、テイクアウトやテレフォンオーダー、当日レシート持参で安くおかわり(一部商品)、クリエカードで5%OFFなど、様々なサービスがあるようです。詳しいことは直接店頭で聞いてくださいね。

「あまが咲だよりを見た」と言っても特にサービスはありませんが、早朝や夕方方はお席に余裕があるようですので、ぜひ一度行ってみたいはどうでしょうか。朝食や昼食時の混み合う時間帯は、テイクアウトもおすすめですよ。

現場からは以上です。



編集後記

桜の開花とともに新年度を迎え、なにかとお忙しいことと思います。

同じ病院、同じ部署、同じ仕事でも、新しい人を迎え人がかわればまた違った雰囲気になる気がします。迎える側も新たな気持ちで、気を引き締めて日々の業務の見直しをしていきたいと思っています。「初心忘れるべからず」ですね。

(K.Y.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索